

# 平成27年12月の鉱工業活動 図表集

平成28年2月15日  
経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 平成27年12月 鉱工業指数(確報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	96.2	94.7	112.3	116.0
前月比	▲ 1.7%	▲ 1.8%	0.4%	0.4%
指数水準	H25.6 95.0以来 ①H21.2 76.6 ②H21.3 77.6 ③H21.4 81.0	H25.6 94.5以来 ①H21.2 79.2 ②H21.3 79.7 ③H21.4 80.7	H27.9 113.6以来 I H20.12 119.8 II H21.1 119.5 III H20.11 119.1	H27.8 119.2以来 I H21.2 155.6 II H21.1 150.2 III H21.3 146.3
前月比の動き	2か月連続▲ (H27.11～当月)	2か月連続▲ (H27.11～当月)	2か月連続＋ (H27.11～当月)	2か月連続＋ (H27.11～当月)
前月比幅	H27.5 ▲2.1%以来 ①H23.3 ▲16.5% ②H21.1 ▲8.8% ③H21.2 ▲8.6%	H27.11 ▲2.4%以来 ①H23.3 ▲15.7% ②H21.1 ▲9.5% ③H20.12 ▲7.1%	H27.11 0.4%以来 (超) H27.6 1.5%以来 I H23.5 4.7% II H24.3 2.5% III H22.12,H23.4 2.3%	H27.11 3.1%以来 I H20.11 13.2% II H20.12 9.9% III H21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	▲ 1.9%	▲ 2.5%	0.0%	2.9%
前年同月比の動き	2か月ぶり▲ (H27.10以来)	2か月ぶり▲ (H27.10以来)	—	3か月ぶり＋ (H27.9以来)
前年同月比幅	H27.5 ▲3.9%以来 ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H27.5 ▲3.2%以来 ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	—	H27.9 3.6%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

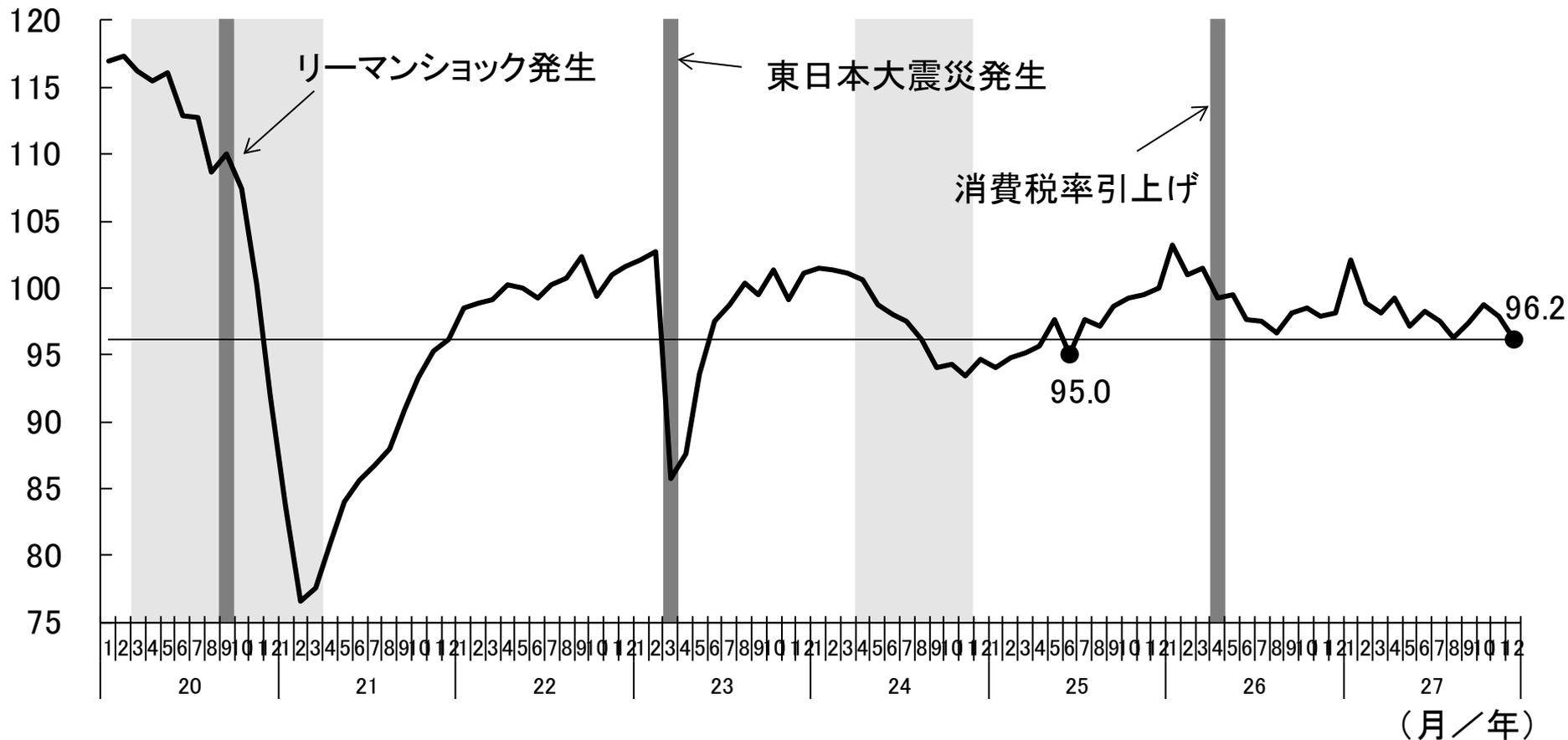
1) ▲はマイナス

2) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 鉱工業生産指数の動向

- 平成27年12月の生産指数は96.2(前月比▲1.7%)と2か月連続の低下。
- 平成25年6月の95.0以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



- (注) 1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫などを基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. 薄色のシャド一部分は景気後退局面。

# 鉱工業生産を大きく動かした品目

## 業種別

		業種・品目名	前月比	寄与率
○ 鉱工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	窯業・土石製品工業	1.8%	3.2%
	品目	ファインセラミックス ガラス・同製品	6.9% 2.4%	2.8% 1.7%
	2位の業種	情報通信機械工業	1.7%	2.4%
	品目	通信機械 電子計算機	7.1% 2.6%	2.3% 1.5%
	3位の業種	化学工業	0.3%	2.3%
	品目	石油系芳香族 環式中間物	11.7% 5.8%	4.4% 1.6%
○ 鉱工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	輸送機械工業	▲ 2.0%	▲ 22.5%
	品目	自動車部品 航空機	▲ 2.4% ▲ 11.2%	▲ 9.6% ▲ 9.3%
	2位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 2.7%	▲ 21.7%
	品目	半導体・フラットパネル製造装置 化学機械	▲ 10.9% ▲ 47.8%	▲ 10.3% ▲ 7.5%
	3位の業種	電子部品・デバイス工業	▲ 3.9%	▲ 19.3%
	品目	電子部品 集積回路	▲ 4.5% ▲ 5.4%	▲ 11.8% ▲ 9.4%

### 寄与率:

生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い  
全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる

※ **業種別** **全体** 内の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した  
分類によるもの。

# 全体

		品目名	前月比	寄与率
○ 鉱工業生産を <b>上昇</b> 方向 に引っ張った3品目	1位	石油系芳香族	11.7%	4.4%
	2位	その他の電気機械	13.0%	3.0%
	3位	ファインセラミックス	6.9%	2.8%
○ 鉱工業生産を <b>低下</b> 方向 に引っ張った3品目	1位	電子部品	▲ 4.5%	▲ 11.8%
	2位	半導体・フラットパネル製造装置	▲ 10.9%	▲ 10.3%
	3位	自動車部品	▲ 2.4%	▲ 9.6%

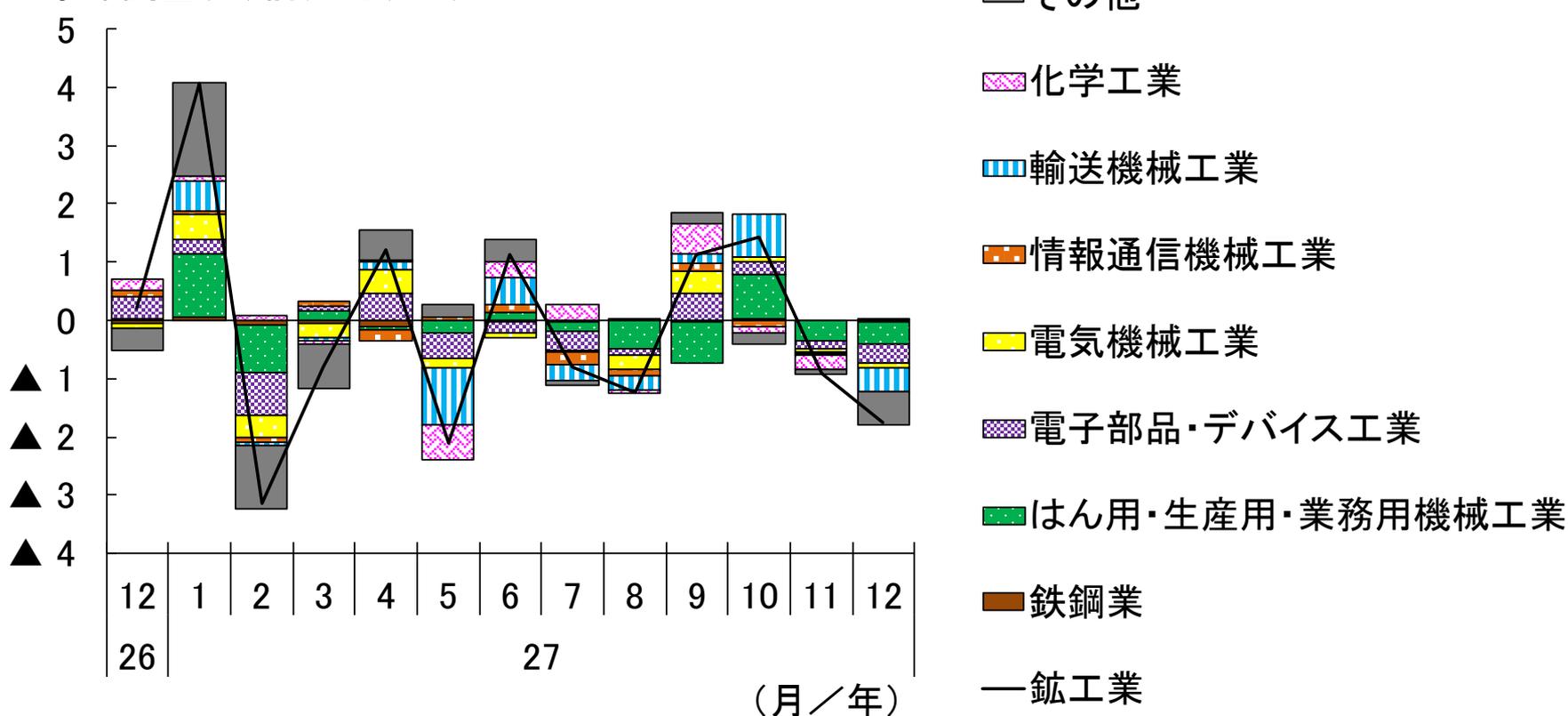
## 財別(=用途別)

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	▲ 1.6%	▲ 47.5%
		モス型半導体集積回路(CCD)	▲ 20.9%	▲ 5.9%
		航空機用機体部品(プロペラ・回転翼を含む)	▲ 12.1%	▲ 5.8%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	▲ 2.5%	▲ 22.1%
		開閉制御装置	▲ 16.3%	▲ 9.2%
		反応用機器	▲ 67.1%	▲ 6.6%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	▲ 1.2%	▲ 7.0%
		カメラ用交換レンズ	▲ 16.3%	▲ 2.7%
		セパレート形エアコン	▲ 5.1%	▲ 2.5%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	▲ 1.9%	▲ 6.3%
		アルミニウムエクステリア	▲ 5.8%	▲ 0.9%
		エレベータ	▲ 9.8%	▲ 0.7%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	▲ 0.7%	▲ 5.5%
		ファンデーション	▲ 13.0%	▲ 3.5%
		化粧水	▲ 9.9%	▲ 2.9%

# 鉱工業生産への業種別寄与度分解

- 平成27年12月の生産指数(季節調整済)は、輸送機械工業、はん用・生産用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業などが低下したため、前月比 ▲1.7%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

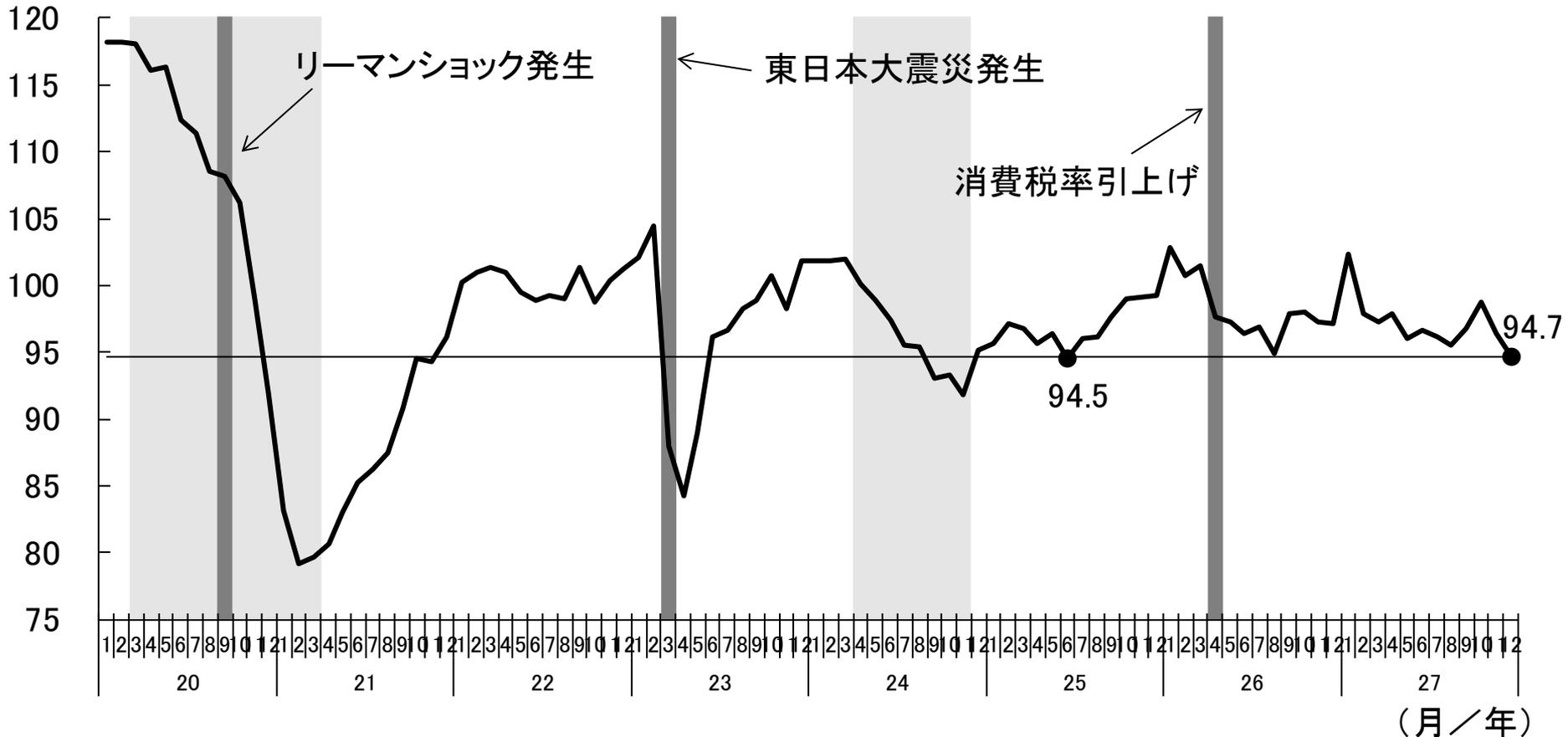


(注)その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、食料品・たばこ工業、その他工業、鉱業が含まれる。

# 鉱工業出荷指数の動向

- 平成27年12月の出荷指数は94.7(前月比▲1.8%)と2か月連続の低下。
- 平成25年6月の94.5以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



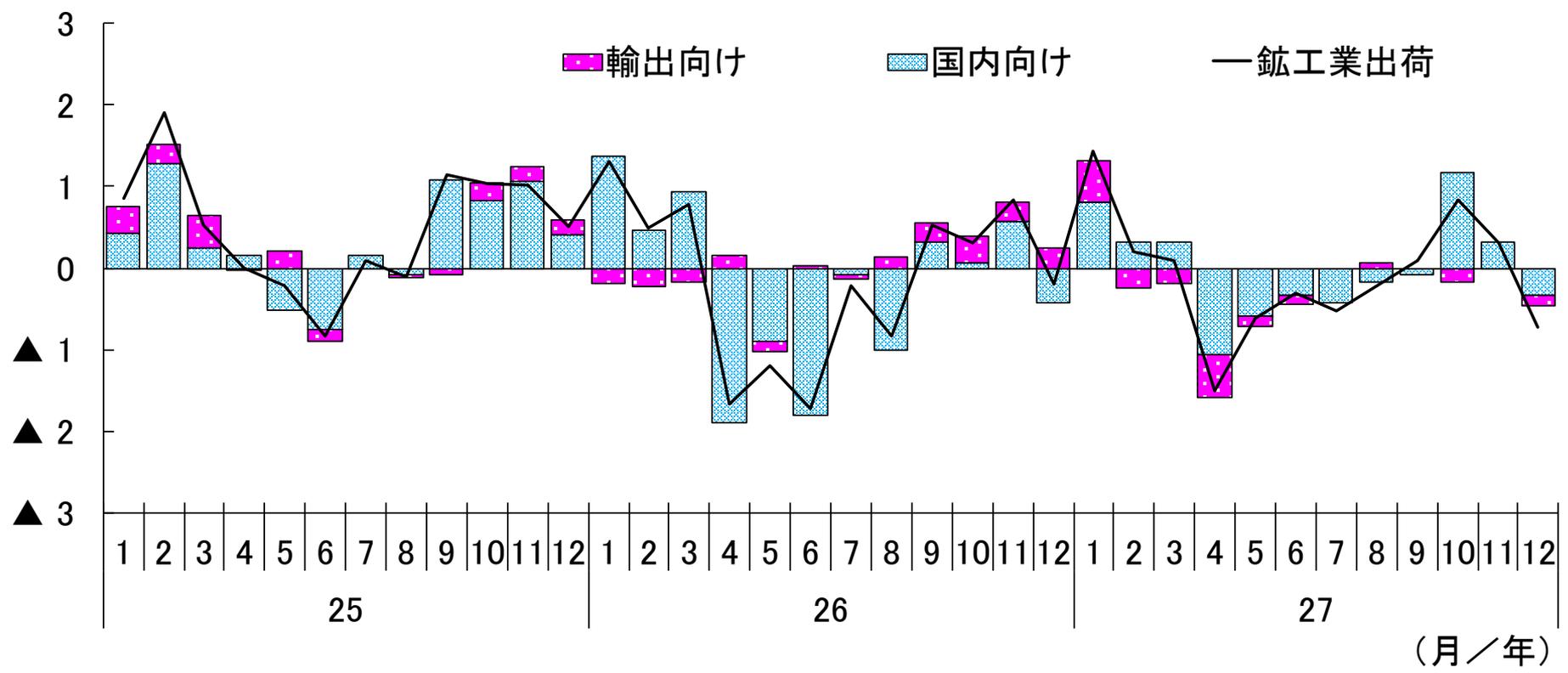
(注) 薄色のシャド一部分は景気後退局面。



# 出荷内訳表(後方3か月移動平均・前月比寄与度)の動向

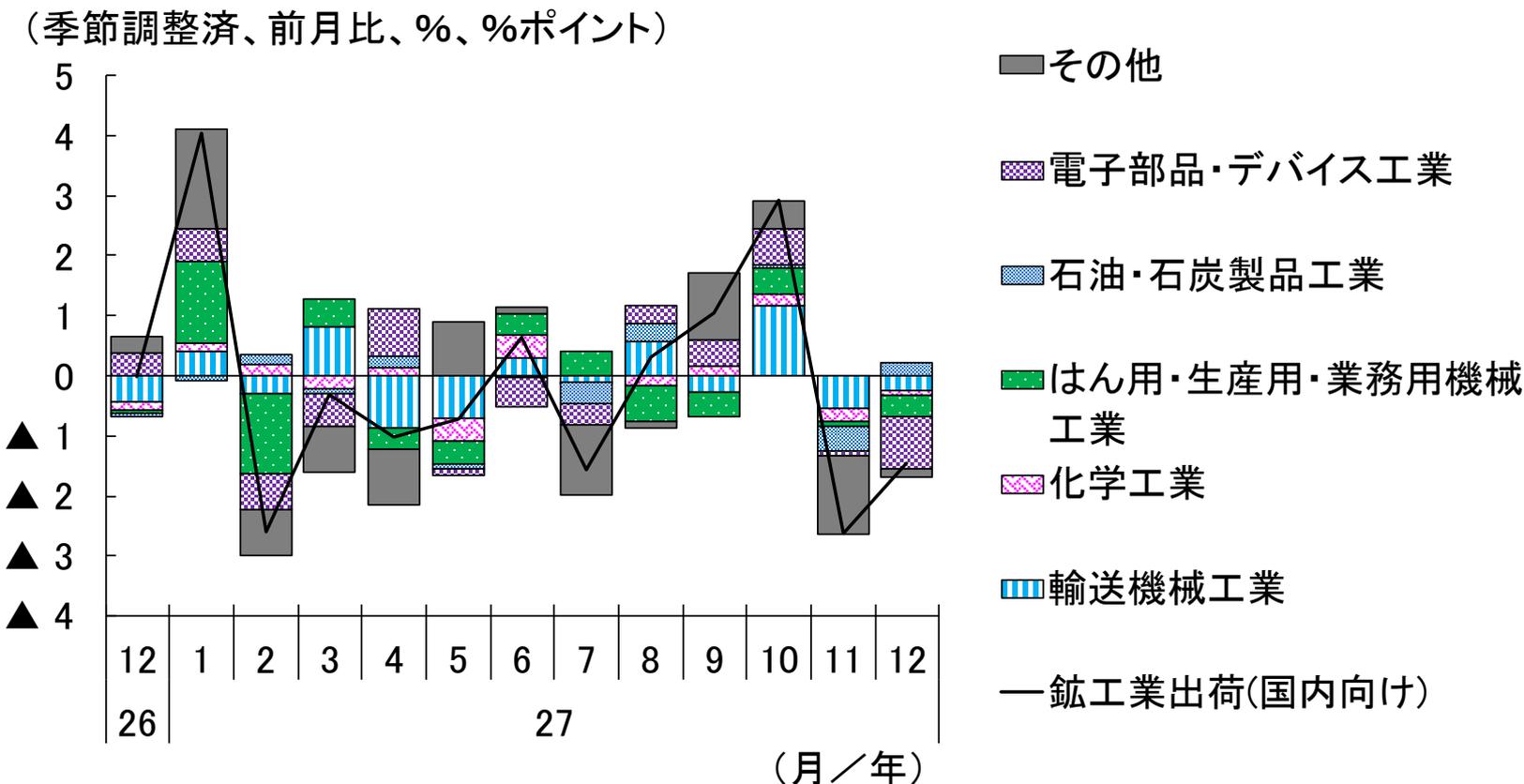
- 後方3か月移動平均で均してみると、鋳工業出荷の前月比は低下に転じた。内訳をみると、輸出向け、国内向けともに低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 主要業種別・国内向け出荷の動向

- 平成27年12月の鉱工業・国内向け出荷を、主要業種別にみると、石油・石炭製品工業が増加したものの、電子部品・デバイス工業などが低下。

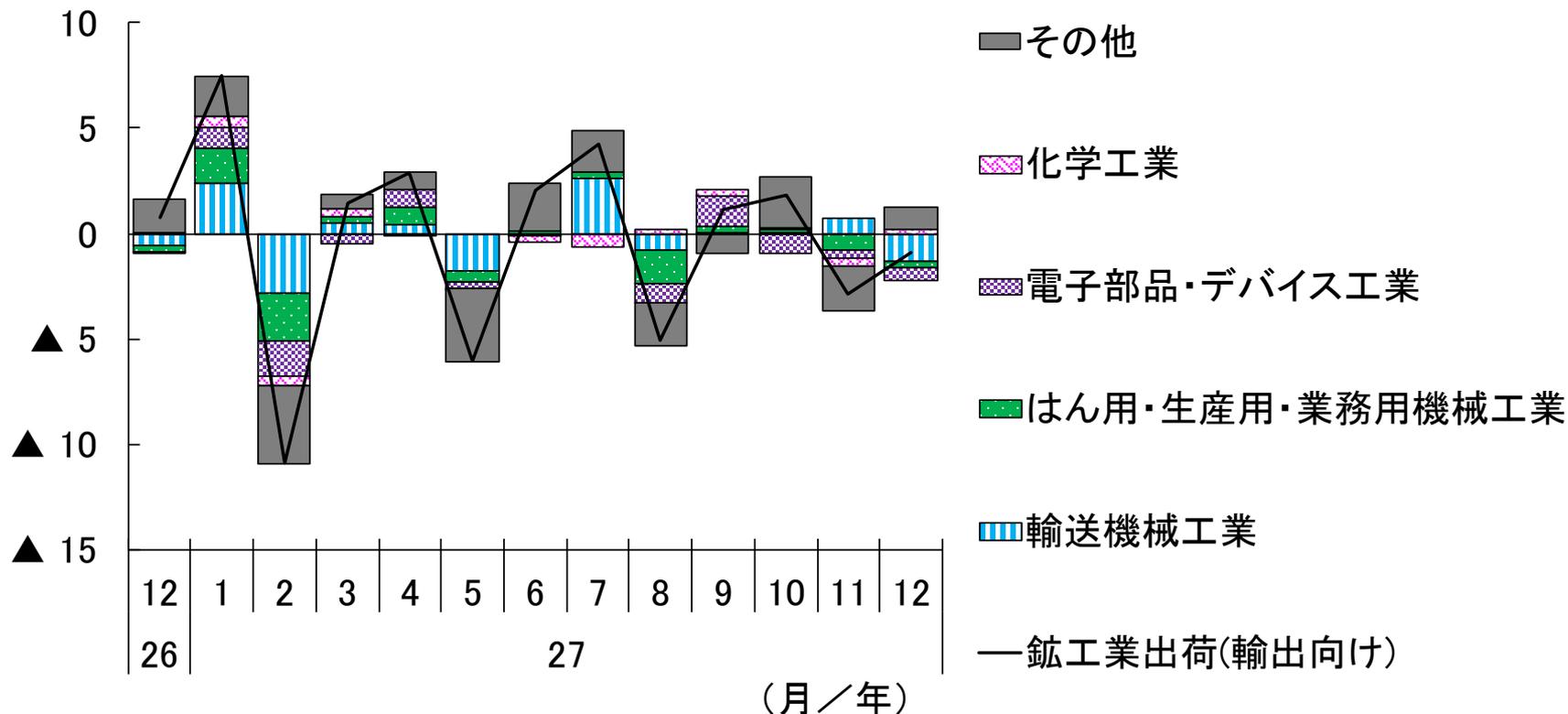


(注)主要業種とは、鉱工業・国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。  
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、化学工業(同、同860.84)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)、電子部品・デバイス工業(同、同457.59)。

# 主要業種別・輸出向け出荷の動向

- 平成27年12月の鉱工業・輸出向け出荷を、主要業種別にみると、化学工業などが増加したものの、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

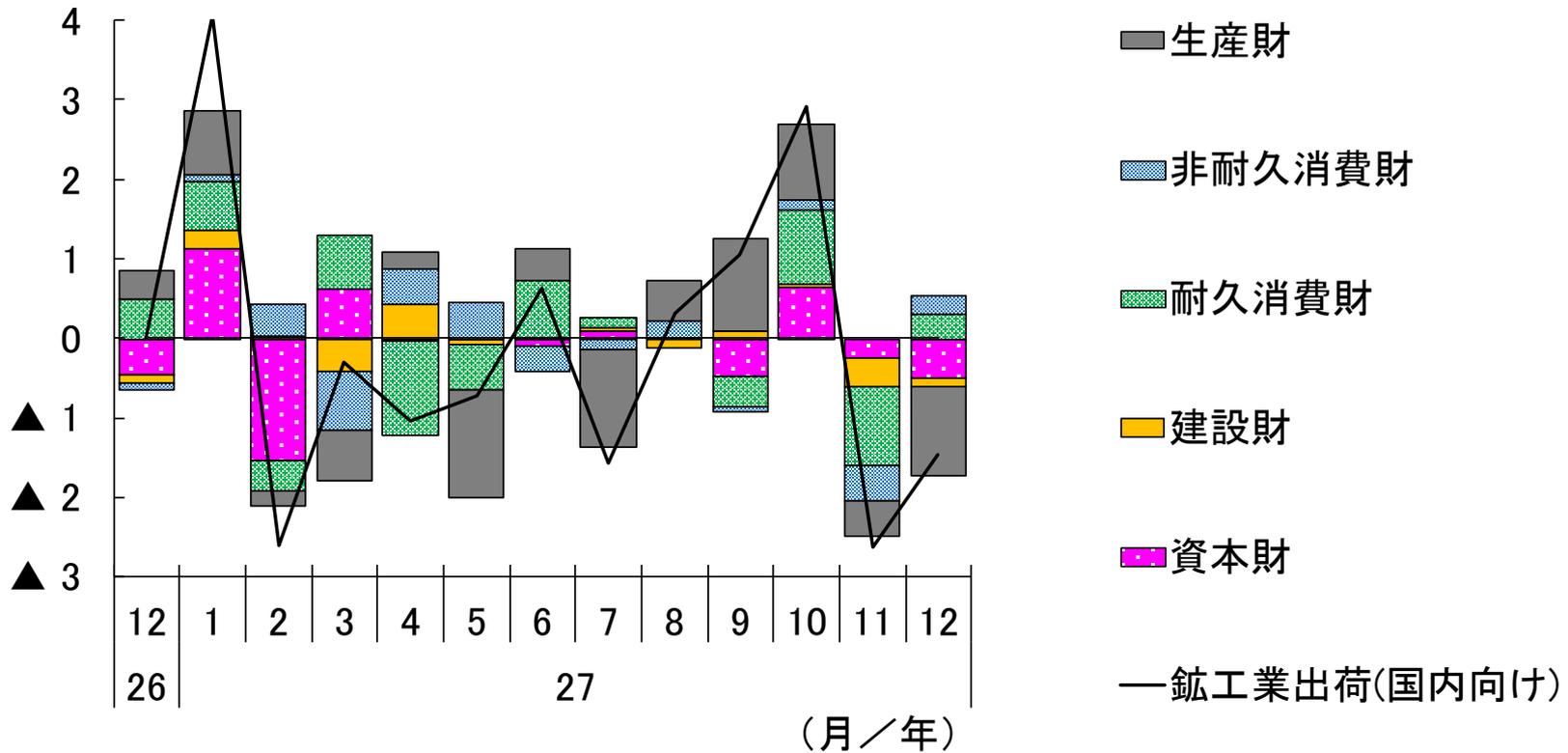


(注) 主要業種とは、鉱工業・輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(同、同180.06)の4業種。

# 財別・国内向け出荷の動向

- 平成27年12月の鉱工業・国内向け出荷を、財別にみると、耐久消費財などが増加したものの、生産財などが低下。

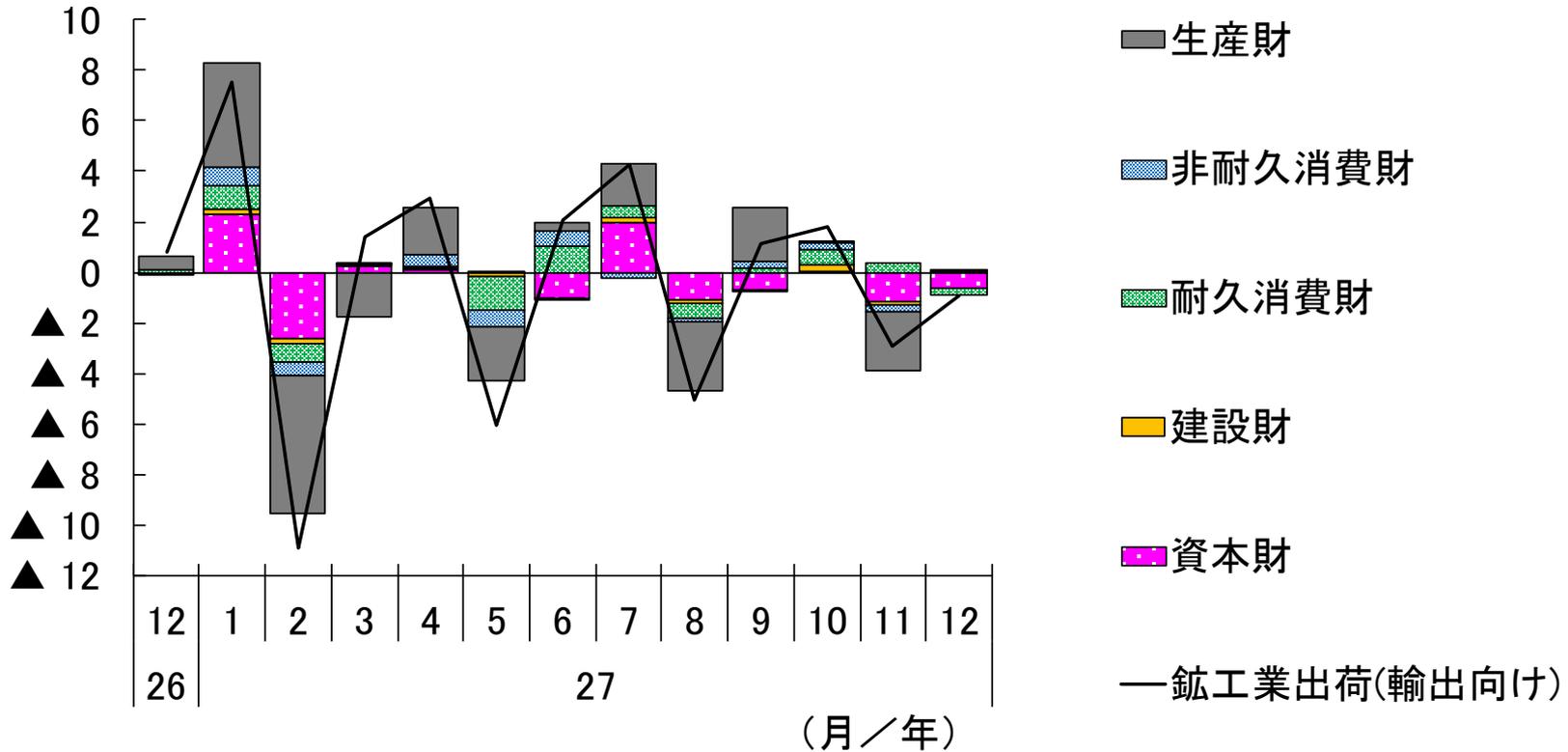
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 財別・輸出向け出荷の動向

- 平成27年12月の鉱工業・輸出向け出荷を、財別にみると、建設財と非耐久消費財が上昇したものの、資本財などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 国内向け出荷の財別・業種別の変動寄与

財別分類	前月比 (%)	寄与率 (%)
鉱工業	▲ 1.5	▲ 66.1
鉱工業用生産財	▲ 2.6	▲ 51.8
電子部品・デバイス工業	▲ 10.6	▲ 38.3
輸送機械工業	▲ 4.0	▲ 12.2
資本財	▲ 2.7	▲ 22.8
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 4.6	▲ 19.3
電気機械工業	▲ 5.8	▲ 6.5
建設財	▲ 1.5	▲ 4.2
金属製品工業	▲ 1.1	▲ 1.4
プラスチック製品工業	▲ 8.4	▲ 1.2
その他用生産財	0.8	1.8
石油・石炭製品工業	3.3	4.6
金属製品工業	1.8	0.0
非耐久消費財	1.6	9.9
食料品・たばこ工業	2.0	5.4
石油・石炭製品工業	2.9	3.2
耐久消費財	2.6	14.4
輸送機械工業	1.0	4.4
繊維工業	4.3	0.1

## 寄与率

▲ 100%になる。  
 出荷全体の變動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら

(注)試算値

# 輸出向け出荷の財別・業種別の変動寄与

財別分類	前月比 (%)	寄与率 (%)
鉱工業	▲ 0.9	▲ 10.4
資本財	▲ 3.1	▲ 6.7
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 5.0	▲ 5.9
輸送機械工業	▲ 6.6	▲ 4.0
その他用生産財	▲ 13.1	▲ 5.3
石油・石炭製品工業	▲ 30.0	▲ 7.6
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 2.9	▲ 0.0
耐久消費財	▲ 1.7	▲ 2.8
輸送機械工業	▲ 6.4	▲ 8.9
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 11.7	▲ 0.4
非耐久消費財	1.5	0.6
石油・石炭製品工業	15.1	0.5
化学工業	1.8	0.3
建設財	4.1	0.9
鉄鋼業	26.1	0.9
プラスチック製品工業	4.6	0.3
鉱工業用生産財	0.5	3.3
電気機械工業	20.5	8.5
輸送機械工業	2.7	3.5

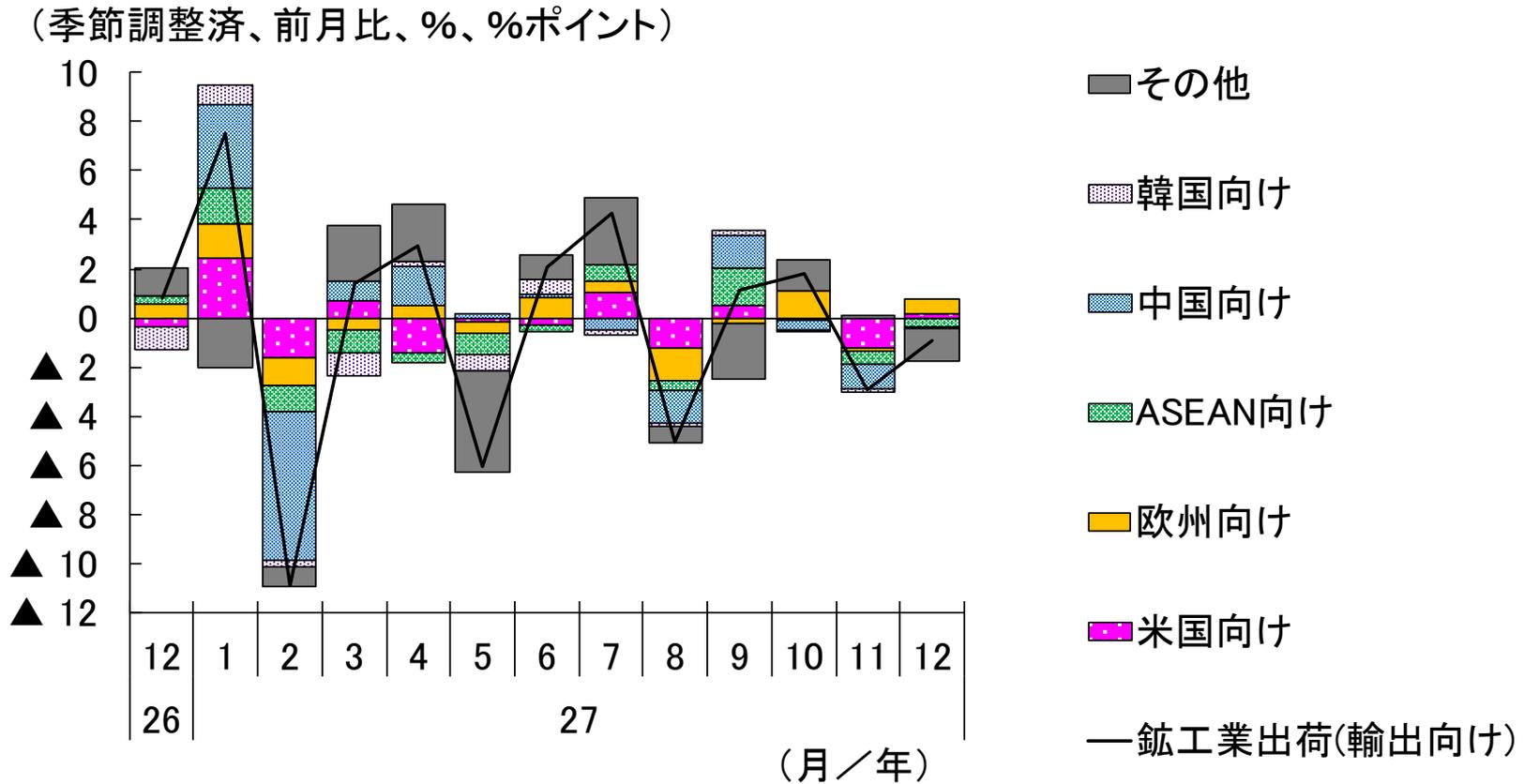
## 寄与率

▲ 100%になる。  
 出荷全体の變動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら

(注)試算値

# 地域別・輸出向け出荷の動向

- 平成27年12月の鉱工業・輸出向け出荷を、地域別にみると、欧州向けなどが増加したものの、ASEAN向けなどが低下。



(注) 試算値

# 総供給表の動向

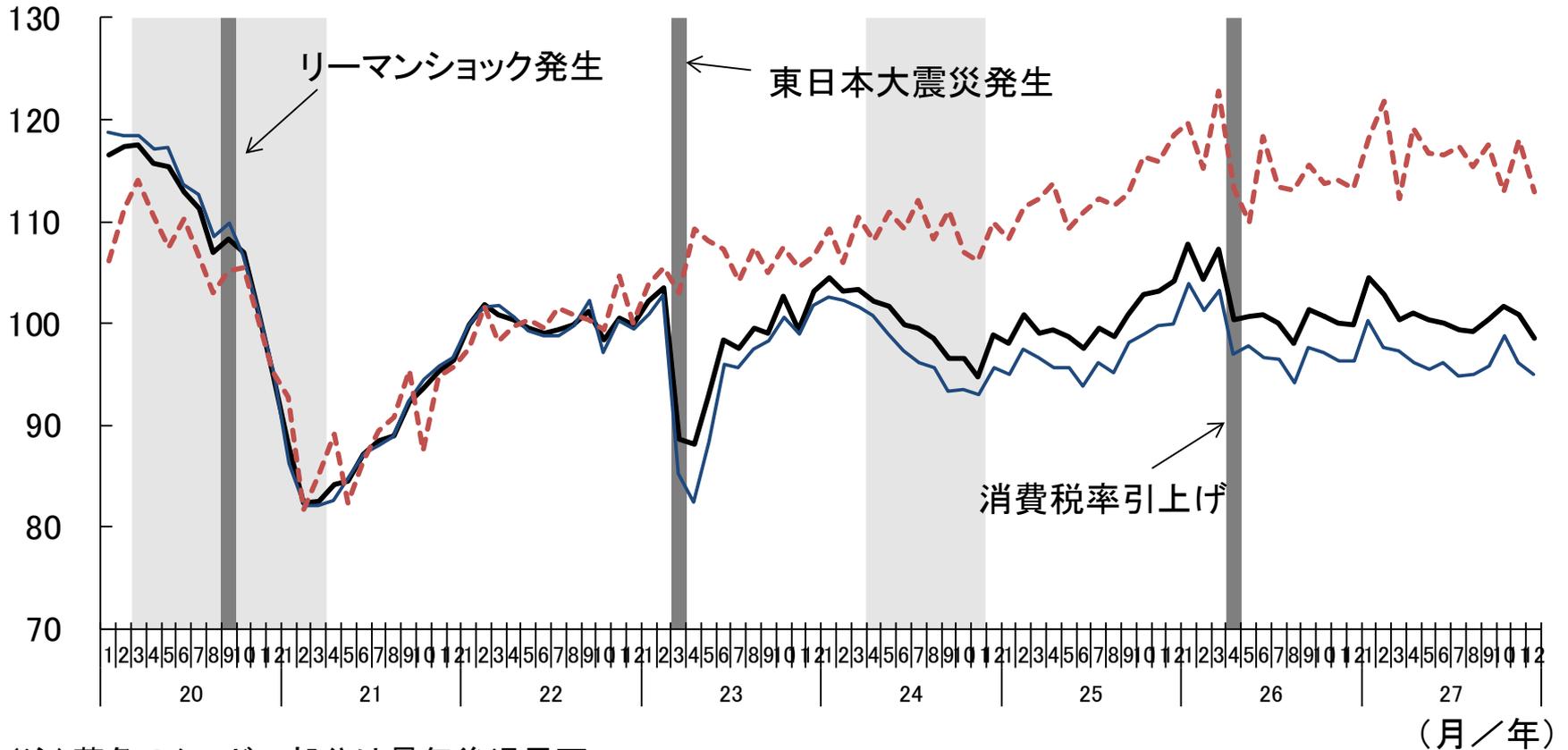
- 平成27年12月の鉱工業総供給は98.6(前月比▲2.3%)と2か月連続の低下。
- 内訳をみると、国産は94.9(前月比▲1.4%)と2か月連続の低下。輸入は112.9(同▲4.4%)と2か月ぶりの低下。

(22年=100、季節調整済)

— 鉱工業総供給

— 国産

- - - 輸入

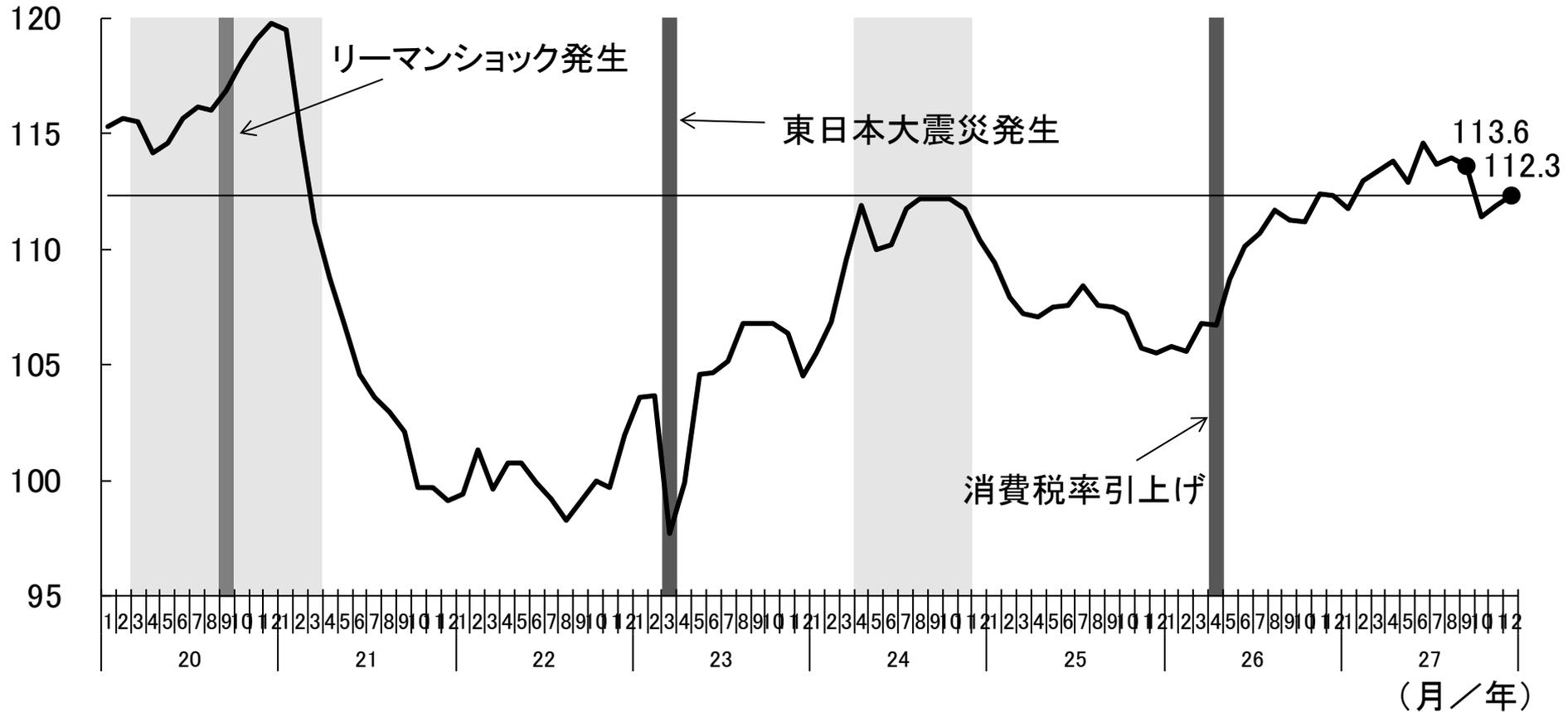


(注) 薄色のシャド一部分は景気後退局面。

# 鉱工業在庫指数の動向

- 平成27年12月の在庫指数は112.3(前月比0.4%)と2か月連続の上昇。
- 平成27年9月の113.6以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)薄色のシャドー一部分は景気後退局面。



# 平成27年10～12月期 鉱工業指数(確報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	97.6	96.6	112.3	114.5
前月比	0.5%	0.4%	▲ 1.1%	▲ 1.0%
指数水準	H27.Ⅱ 98.3以来  ⅠH20.Ⅰ 116.8 ⅡH20.Ⅱ 114.8 ⅢH20.Ⅲ 110.5	H27.Ⅱ 96.8以来  ⅠH20.Ⅰ 118.2 ⅡH20.Ⅱ 115.0 ⅢH20.Ⅲ 109.4	H26.Ⅳ 112.3以来 (超)H26.Ⅲ 111.3以来  ①H23.Ⅰ 97.7 ②H21.Ⅳ、22.Ⅲ 99.1 ③H22.Ⅰ 99.6	H27.Ⅱ 114.0以来  ①H20.Ⅰ 96.8 ②H22.Ⅲ 97.9 ③H20.Ⅱ 98.1
前期比の動き	3期ぶり+ (H27.Ⅰ以来)	3期ぶり+ (H27.Ⅰ以来)	2期連続▲ (H27.Ⅲ～当期)	3期ぶり▲ (H27.Ⅰ以来)
前期比幅	H27.Ⅰ 1.5%以来  ⅠH21.Ⅳ、23.Ⅲ 7.1% ⅡH21.Ⅲ 6.1% ⅢH21.Ⅱ 5.3%	H27.Ⅰ 1.7%以来  ⅠH23.Ⅲ 9.0% ⅡH21.Ⅳ 7.7% ⅢH21.Ⅲ 6.3%	H25.Ⅳ ▲1.9%以来  ①H21.Ⅰ ▲7.2% ②H21.Ⅱ ▲5.9% ③H23.Ⅰ ▲4.2%	H27.Ⅰ ▲1.3%以来  ①H21.Ⅱ ▲12.1% ②H21.Ⅲ ▲11.7% ③H21.Ⅳ ▲8.4%
前年同期比(原指数)	▲ 0.5%	▲ 0.8%	0.0%	0.6%
前年同期比の動き	6期連続▲ (H26.Ⅲ～当期)  ・直近で6期以上連続▲ 6期連続▲ (H20.Ⅲ～21.Ⅳ)	6期連続▲ (H26.Ⅲ～当期)  ・直近で6期以上連続▲ 6期連続▲ (H20.Ⅲ～21.Ⅳ)	—	7期連続+ (H26.Ⅱ～当期)  ・直近で7期以上連続+ 10期連続+ (H19.Ⅱ～21.Ⅲ)
前年同期比幅	H27.Ⅱ ▲0.5%以来 (超)H27.Ⅰ ▲2.1%以来  ①H21.Ⅰ ▲33.2% ②H21.Ⅱ ▲27.3% ③H21.Ⅲ ▲19.7%	H27.Ⅰ ▲2.4%以来  ①H21.Ⅰ ▲33.1% ②H21.Ⅱ ▲27.7% ③H21.Ⅲ ▲19.2%	—	H27.Ⅲ 2.1%以来  ⅠH21.Ⅰ 56.2% ⅡH21.Ⅱ 35.6% ⅢH23.Ⅱ 16.5%

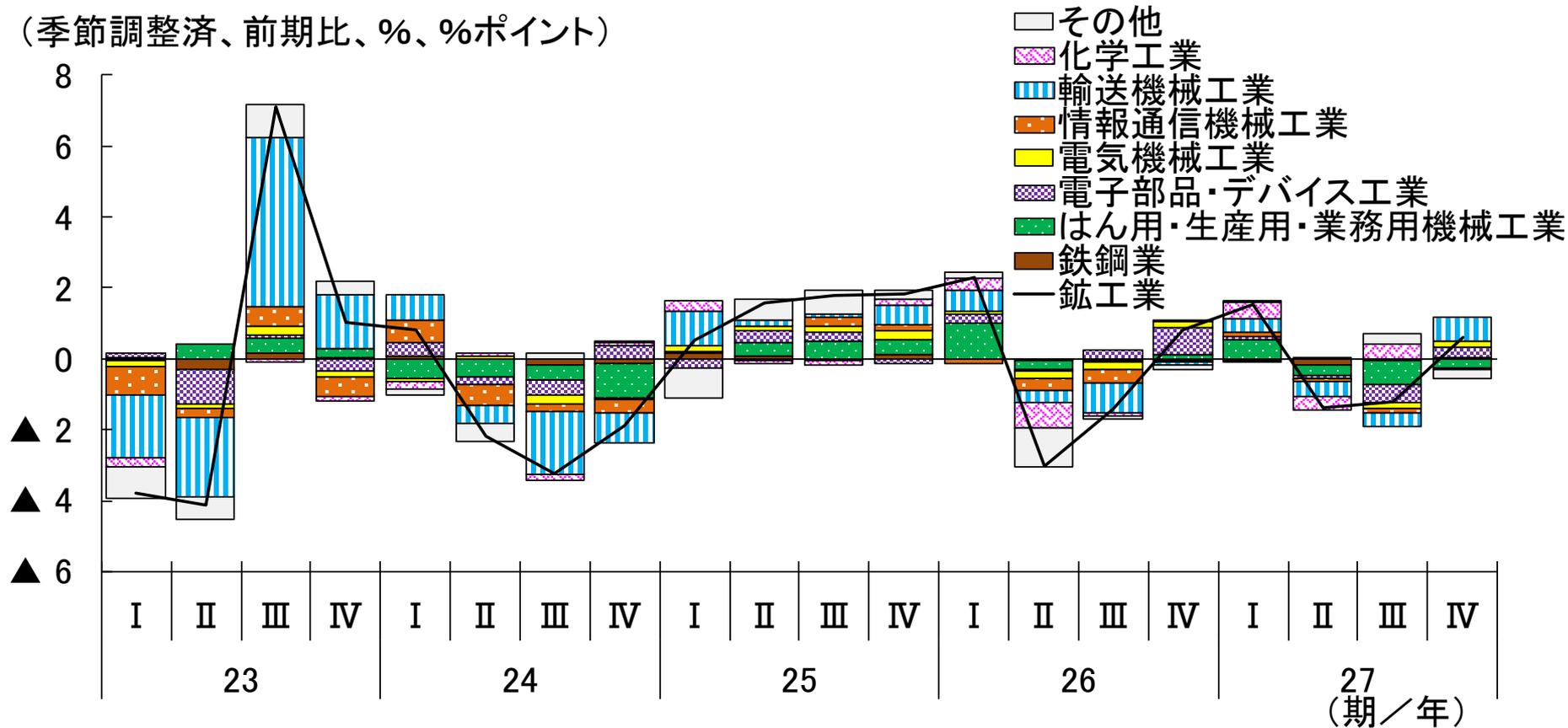
1) ▲はマイナス

2) Ⅰ～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 鋳工業生産への業種別寄与度分解

- 平成27年10～12月期の生産指数(季節調整済)は、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前期比0.5%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



注:その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、食料品・たばこ工業、その他工業、鋳業が含まれる。

# 平成27年 鉱工業指数(確報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

年次	生産	出荷	在庫	在庫率
原指数	98.1	97.1	112.3	114.1
前年比	▲ 0.9%	▲ 1.1%	0.0%	3.9%
指数水準	H25 97.0以来 ①H21 86.5 ②H25 97.0 ③H23 97.2	H25 96.9以来 ①H21 86.6 ②H23 96.3 ③H25 96.9	—	H21 127.2以来 I H21 127.2 II H27 114.1 III H24 113.2
前年比の動き	2年ぶり▲ (H25以来)	2年ぶり▲ (H25以来)	—	2年連続+ (H26～当年)
前年比幅	H23 ▲2.8%以来 ①H21 ▲21.9% ②H23 ▲2.8% ③H27 ▲0.9%	H23 ▲3.7%以来 ①H21 ▲21.7% ②H23 ▲3.7% ③H27 ▲1.1%	—	H24 4.7%以来 I H21 20.3% II H20 8.3% III H23 8.1%

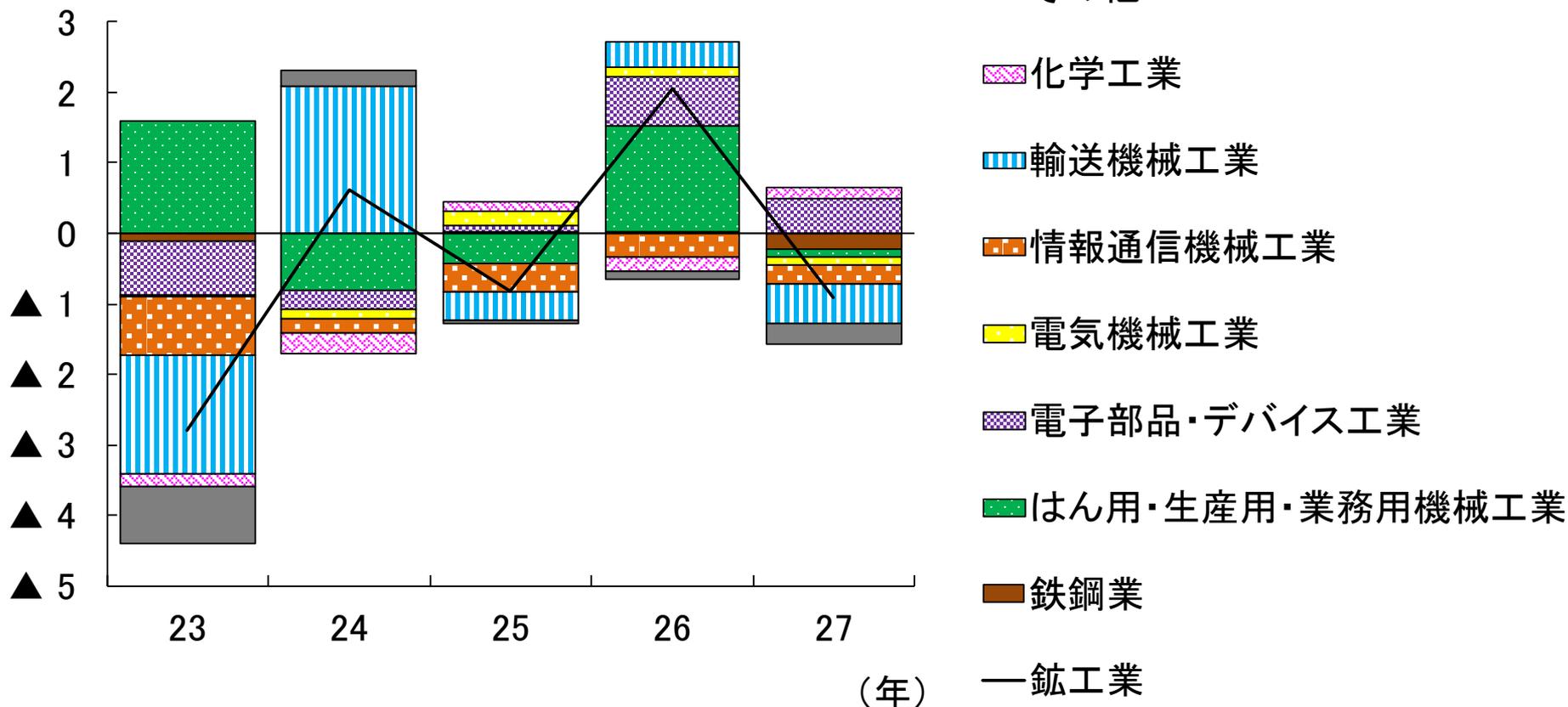
1) ▲はマイナス

2) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 鋳工業生産への業種別寄与度分解

- 平成27年の生産指数(原指数)は、電子部品・デバイス工業などが上昇したものの、輸送機械工業などが低下したため、前年比▲0.9%の低下。

(原指数、前年比、%、%ポイント)



注:その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、食料品・たばこ工業、その他工業、鋳業が含まれる。

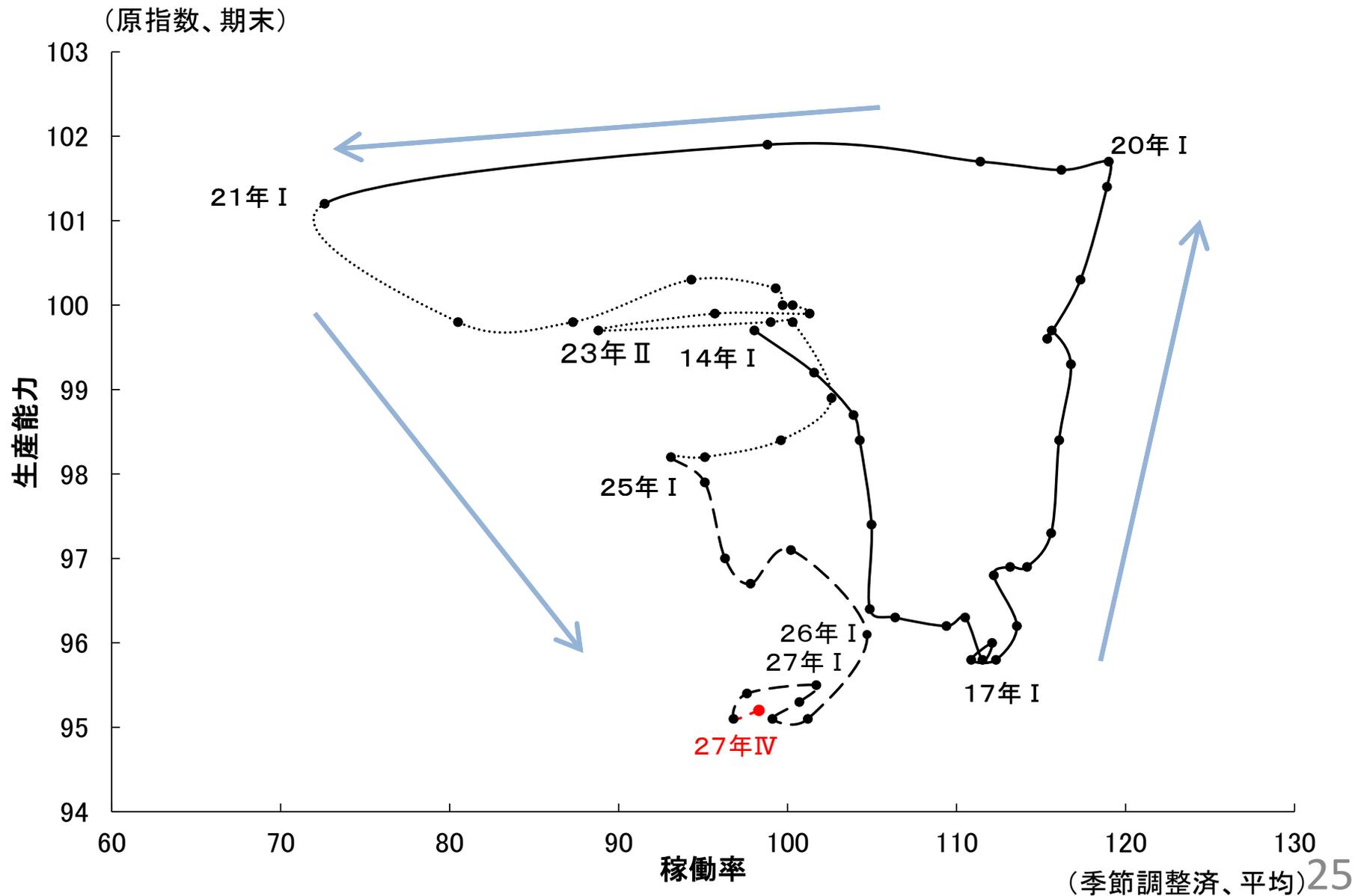
# 平成27年12月 稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率			能力		
		機械工業	非機械工業		機械工業	非機械工業
季調済指数	97.6	97.1	98.3	95.2 (原指数)	96.2 (原指数)	93.7 (原指数)
前月比	▲ 1.0%	▲ 1.6%	▲ 0.1%	0.0%	▲ 0.1%	0.0%
指数水準	H27.9 97.4以来 ①H21.2 69.3 ②H21.3 70.3 ③H21.4 77.2	H27.9 96.4以来 ①H21.2 63.9 ②H21.3 66.4 ③H23.4 69.7	H27.8 97.5以来 ①H21.3 76.8 ②H21.2 77.8 ③H21.1 82.5	—	H27.9 95.9以来 ①H26.7 94.8 ②H26.8 94.9 ③H26.9 95.0	—
前月比の動き	2か月連続▲ (H27.11～当月)	4か月ぶり▲ (H27.8以来)	3か月連続▲ (H27.10～当月)	—	4か月ぶり▲ (H27.8以来)	—
前月比幅	H27.5 ▲3.0%以来 ①H23.3 ▲21.7% ②H21.1 ▲12.0% ③H21.2 ▲11.3%	H27.8 ▲1.9%以来 ①H23.3 ▲28.6% ②H21.1 ▲15.0% ③H21.2 ▲14.8%	H27.11 ▲0.5%以来 ①H23.3 ▲10.9% ②H21.1 ▲7.9% ③H20.12 ▲7.6%	—	H27.8 ▲0.4%以来 ①H21.4 ▲1.9% ②H24.1,H26.1 ▲1.6% ③H25.4 ▲1.3%	—
前年同月比(原指数)	▲ 3.5%	▲ 5.5%	▲ 0.5%	▲ 0.1%	0.6%	▲ 1.2%
前年同月比の動き	12か月連続▲ (H27.1～当月) ・直近で12か月以上連続▲ 16か月連続▲ (H20.8～H21.11)	12か月連続▲ (H27.1～当月) ・直近で12か月以上連続▲ 16か月連続▲ (H20.8～H21.11)	4か月ぶり▲ (H27.8以来)	9か月ぶり▲ (H27.3以来)	12か月連続＋ (H27.1～当月) ・直近で12か月以上連続＋ 21か月連続＋ (H22.4～H23.12)	87か月連続▲ (H20.10～当月)
前年同月比幅	H27.5 ▲6.8%以来 ①H21.2 ▲43.9% ②H21.3 ▲40.5% ③H21.1 ▲35.0%	H27.10 ▲5.6%以来 ①H21.2 ▲50.8% ②H21.3 ▲46.1% ③H21.1 ▲40.7%	H27.5 ▲0.6%以来 ①H21.2 ▲32.0% ②H21.3 ▲30.7% ③H21.1 ▲25.8%	H27.3 ▲0.6%以来 ①H21.7,8,H26.11 ▲2.1% ②H26.1,2,4,6,10 ▲2.0% ③H21.9,H26.12 ▲1.9%	H27.11 0.8%以来 I H22.8 1.8% II H22.9 1.7% III H22.7,H27.7 1.6%	H27.11 ▲1.3%以来 ①H22.12,H23.1 ▲2.1% ②H22.9,11,H23.2,5,6, H26.4 ▲2.0%

1) ▲はマイナス

2) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

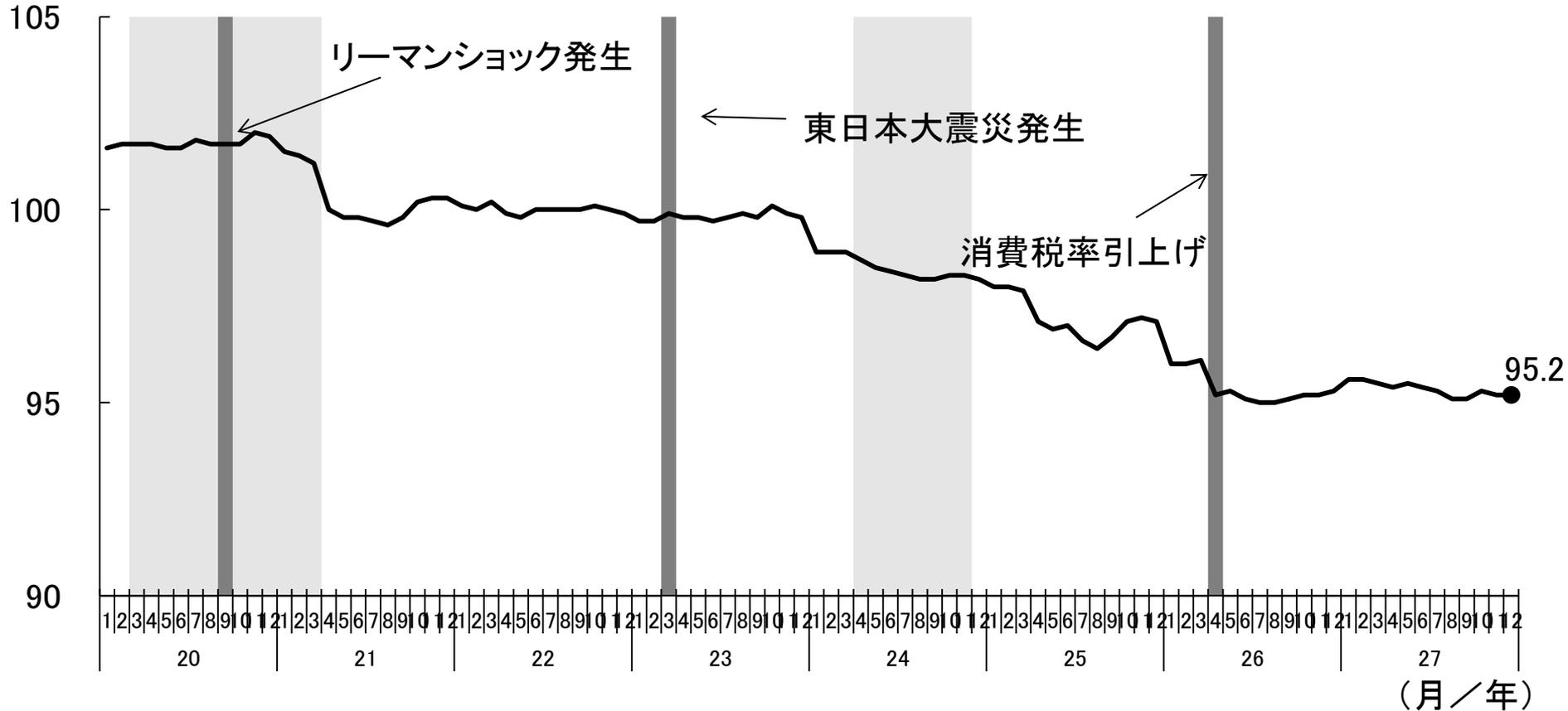
# 生産能力－稼働率の循環関係(平成22年＝100)



# 製造工業生産能力指数の動向

- 平成27年12月の生産能力指数は95.2(前月比0.0%)の横ばい。

(22年=100、季節調整済)



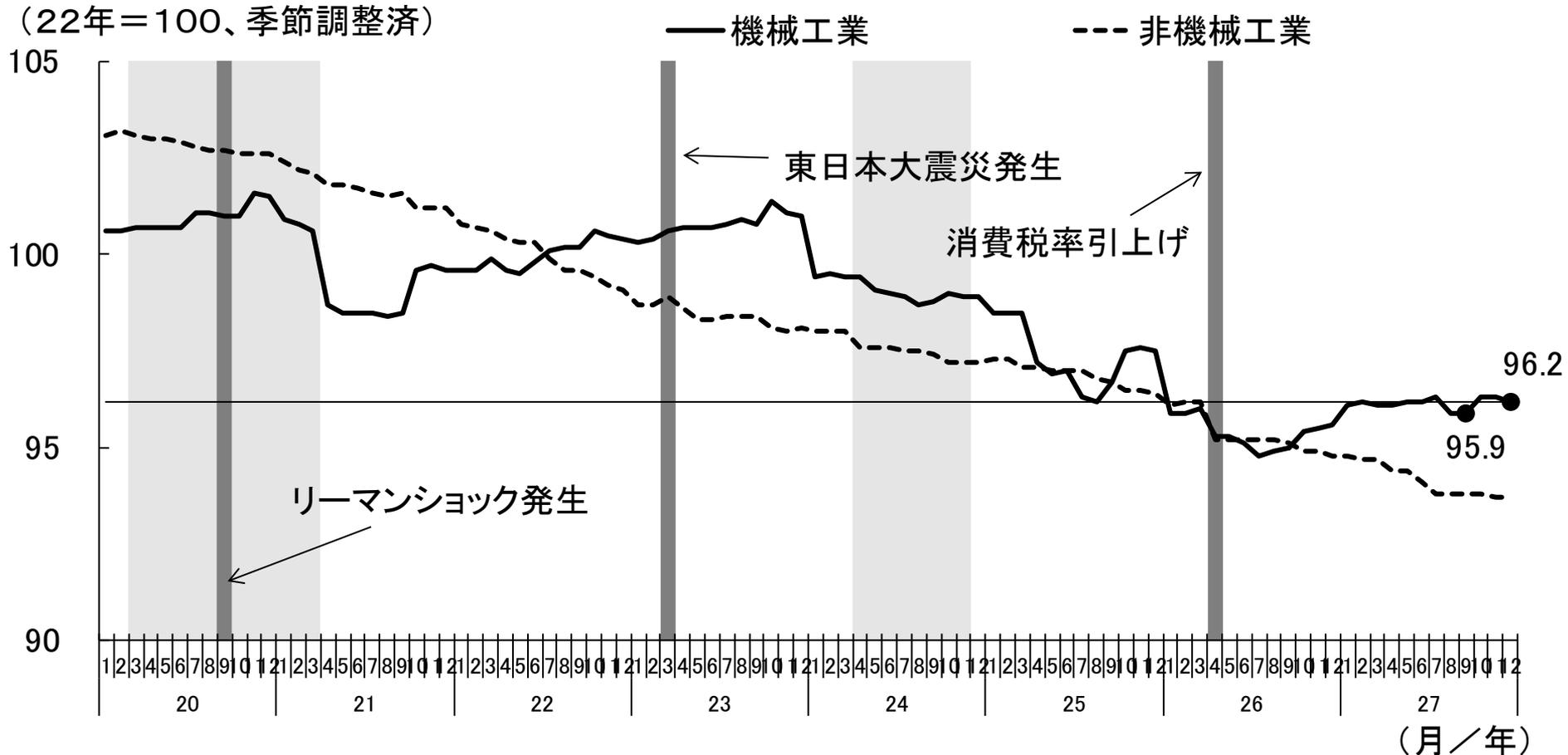
(注) 1. 製造工業生産能力指数とは、月々の製造工業の生産能力を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。

2. 薄色のシャド一部分は景気後退局面。

# 機械工業と非機械工業の生産能力指数の動向

- 平成27年12月の機械工業は96.2(前月比▲0.1%)と4か月ぶりの低下。一方、非機械工業は、93.7(前月比0.0%)の横ばい。

(22年=100、季節調整済)

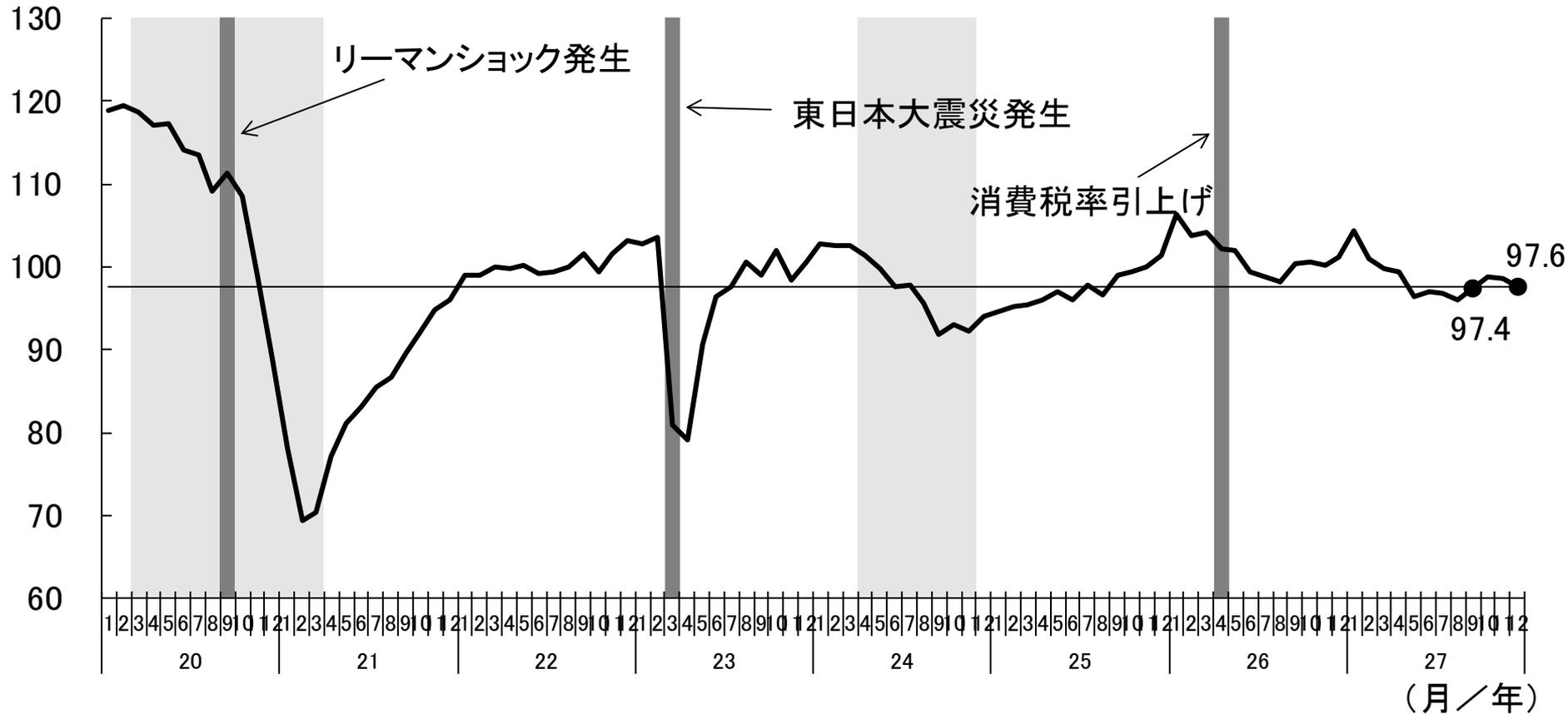


(注)薄色のシャドー一部分は景気後退局面。

# 製造工業稼働率指数の動向

- 平成27年12月の稼働率指数は97.6(前月比▲1.0%)と2か月連続の低下。
- 平成27年9月の97.4以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

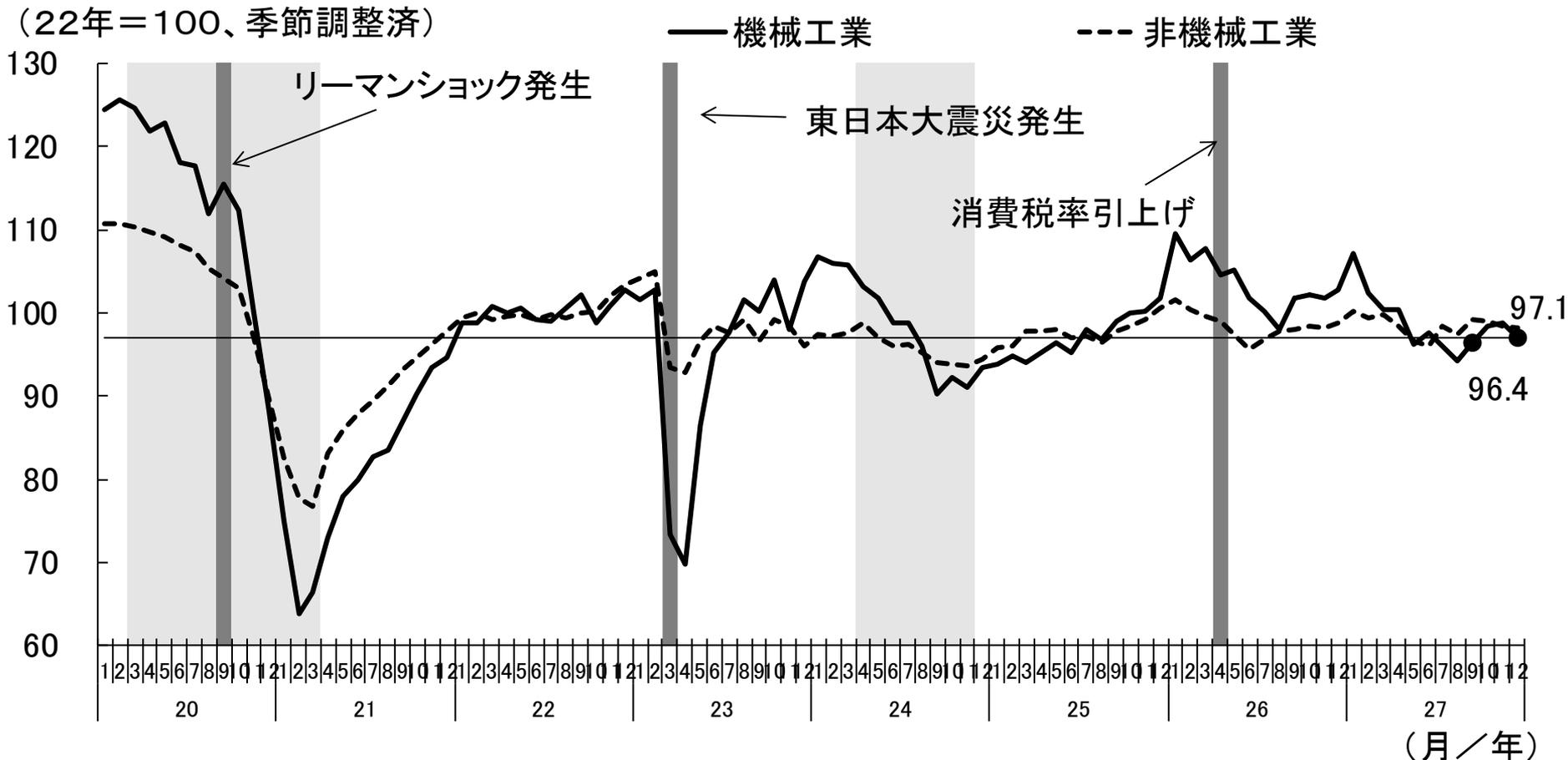


(注) 1. 製造工業稼働率指数とは、月々の製造工業の稼働率を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。

2. 薄色のシャドー部分は景気後退局面。

# 機械工業と非機械工業の稼働率指数の動向

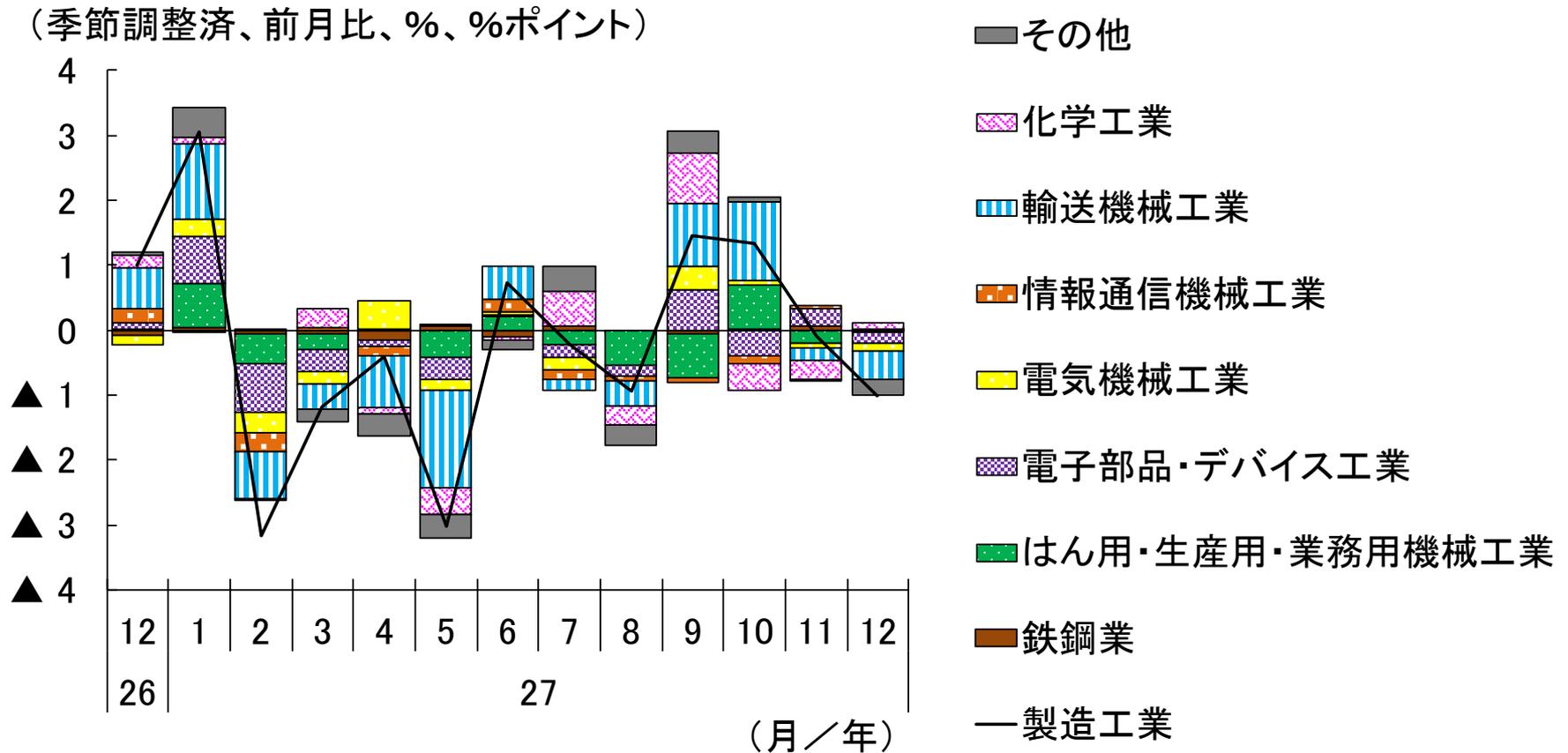
- 平成27年12月の機械工業は97.1(前月比▲1.6%)と4か月ぶりの低下。平成27年9月の96.4以来の指数水準。
- 一方、非機械工業は、98.3(前月比▲0.1%)と3か月連続の低下。



(注)薄色のシャド一部分は景気後退局面。

# 稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成27年12月の稼働率指数(前月比、季節調整済)は、化学工業などが上昇したものの、輸送機械工業などが低下したため、前月比▲1.0%の低下。



(注)その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、その他工業が含まれる。

# 平成27年10～12月期 稼働率・生産能力指数の状況

四半期	稼働率	機械工業	非機械工業	能力	機械工業	非機械工業
季調済指数	98.3	98.1	98.5	95.2 (原指数)	96.2 (原指数)	93.7 (原指数)
前期比	1.5%	2.7%	0.2%	0.1%	0.3%	▲ 0.1%
指数水準	H27 I 101.7以来  I H20 I 119.0 II H20 II 116.2 III H20 III 111.4	H27 II 98.1以来 (超)H27 I 103.3以来  I H20 I 124.9 II H20 II 120.9 III H20 III 115.0	H27 I 99.7以来  I H20 I 110.6 II H20 II 109.0 III H20 III 105.6	H27 II 95.4以来  I H20 IV 101.9 II H20 I, III 101.7 III H20 II 101.6	H27 II 96.2以来 (超)H25 IV 97.5以来  I H20 IV 101.5 II H20 III, 23 IV 101.0 III H23 III 100.8	22年基準最低水準  ① H27 IV 93.7 ② H27 III 93.8 ③ H27 II 94.1
前期比の動き	3期ぶり+ (H27 I 以来)	3期ぶり+ (H27 I 以来)	2期連続+ (H27 III～当期)	3期ぶり+ (H27 I 以来)	2期ぶり+ (H27 II 以来)	17期連続▲ (H23 IV～当期)  ・直近で17か月以上連続▲ 28期連続▲ (H10 IV～H17 III)
前期比幅	H26 IV 1.6%以来  I H23 III 11.5% II H21 II 10.9% III H21 III 8.4%	H26 I 7.3%以来  I H23 III 19.1% II H21 II 12.6% III H21 IV 10.0%	H27 III 1.3%以来  I H21 II 8.4% II H21 III 6.7% III H21 IV 5.4%	H27 I 0.1%以来  I H21 IV 0.5% II H25 IV 0.4% III H20 IV, H26 IV, H27 I 0.2%	H27 I 0.5%以来  I H21 IV 1.1% II H25 IV 0.8% III H26 IV 0.6%	H27 III ▲0.3%以来  ① H26 II ▲1.0% ② H22 III ▲0.7% ③ H22 I, 23 II, 27 II ▲0.6%
前年同期比(原指数)	▲ 2.4%	▲ 4.0%	0.0%	▲ 0.1%	0.6%	▲ 1.2%
前年同期比の動き	4期連続▲ (H27 I～当期)	4期連続▲ (H27 I～当期)	—	3期ぶり▲ (H27 I 以来)	4期連続+ (H27 I～当期)	29期連続▲ (H20 IV～当期)  ・直近で29か月以上連続▲ 32期連続▲ (H11 II～H19 I)
前年同期比幅	H27 III ▲2.4%以来 (超)H27 II ▲3.4%以来  ① H21 I ▲39.9% ② H21 II ▲30.7% ③ H21 III ▲21.5%	H27 III ▲4.6%以来  ① H21 I ▲46.0% ② H21 II ▲36.3% ③ H21 III ▲26.3%	—	H27 I ▲0.6%以来  ① H26 II ▲2.0% ② H21 III, H26 IV ▲1.9% ③ H21 II, H26 I ▲1.8%	H27 III 0.9%以来  I H22 III 1.7% II H22 II 1.3% III H27 II 1.2%	H27 III ▲1.4%以来  ① H22 IV ▲2.1% ② H22 III, H23 II ▲2.0% ③ H26 II ▲1.9%

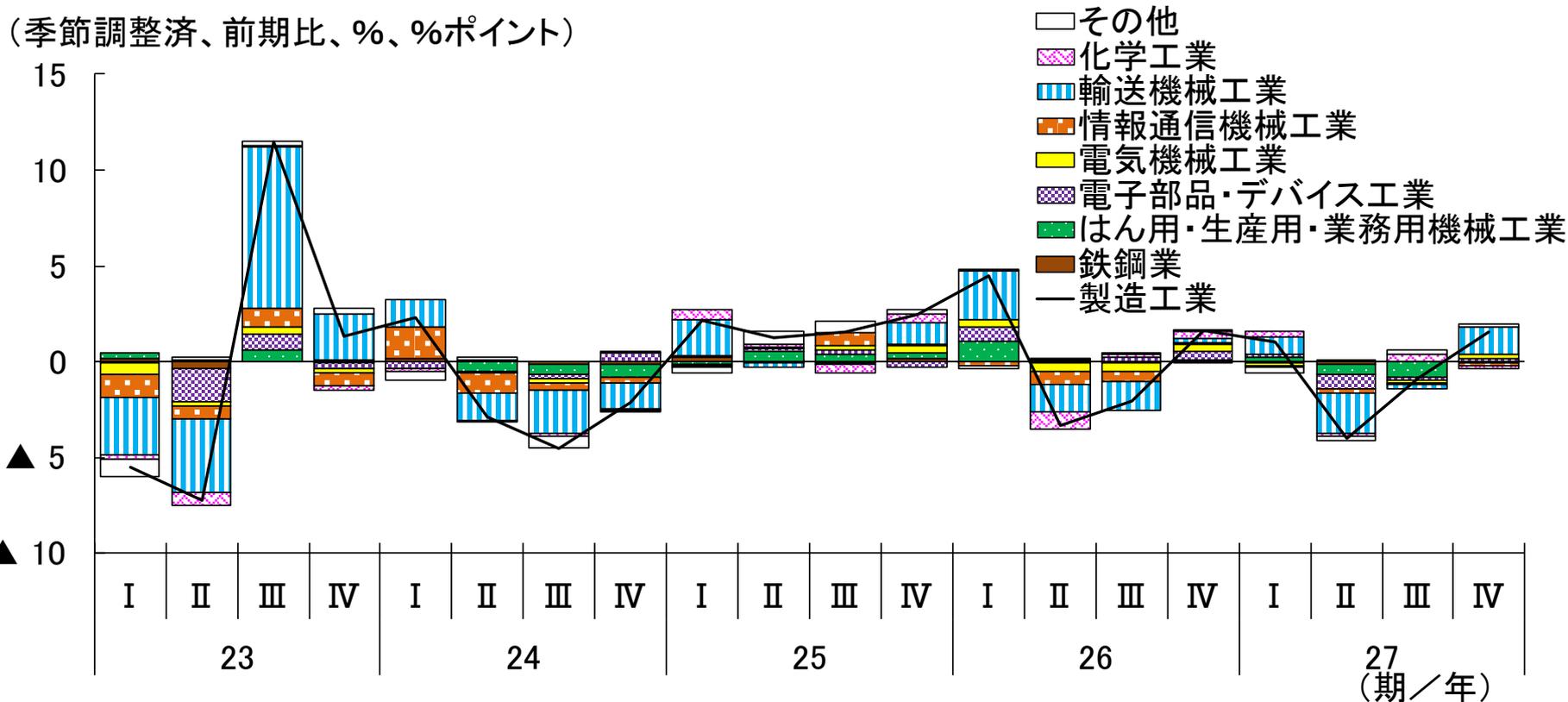
1) ▲はマイナス

2) I～IIIは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

# 稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成27年10～12月期の稼働率指数(前月比、季節調整済)は、輸送機械工業などが上昇したため、前期比1.6%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(注)その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、その他工業が含まれる。

# 平成27年 稼働率・生産能力指数の状況

年次	稼働率		能 力			
	機械工業	非機械工業	機械工業	非機械工業		
原指数	98.5	98.6	98.4	95.2	96.2	93.7
前年比	▲ 2.8%	▲ 4.6%	0.0%	▲ 0.1%	0.6%	▲ 1.2%
指数水準	H25 97.3以来 ①H21 83.6 ②H23 95.7 ③H25 97.3	H25 97.1以来 ①H21 80.6 ②H23 94.2 ③H25 97.1	—	22年基準最低水準 ①H27 95.2 ②H26 95.3 ③H25 97.1	H25 97.5以来 I H20 101.5 II H23 101.0 III H22 100.4	22年基準最低水準 ①H27 93.7 ②H26 94.8 ③H25 96.4
前年比の動き	2年ぶり▲ (H25以来)	2年ぶり▲ (H25以来)	—	7年連続▲ (H21～当年)	4年ぶり+ (H23以来)	18年連続▲ (H10～当年)
前年比幅	H23 ▲4.3%以来 ①H21 ▲25.0% ②H23 ▲4.3% ③H27 ▲2.8%	H23 ▲5.8%以来 ①H21 ▲30.2% ②H23 ▲5.8% ③H27 ▲4.6%	—	H26 ▲1.9%以来 ①H26 ▲1.9% ②H21,24 ▲1.6% ③H25 ▲1.1%	H23 0.6%以来 (超) H22 0.8%以来 I H22 0.8% II H23,27 0.6% —	H26 ▲1.7%以来 ①H22 ▲2.1% ②H26 ▲1.7% ③H21 ▲1.4%

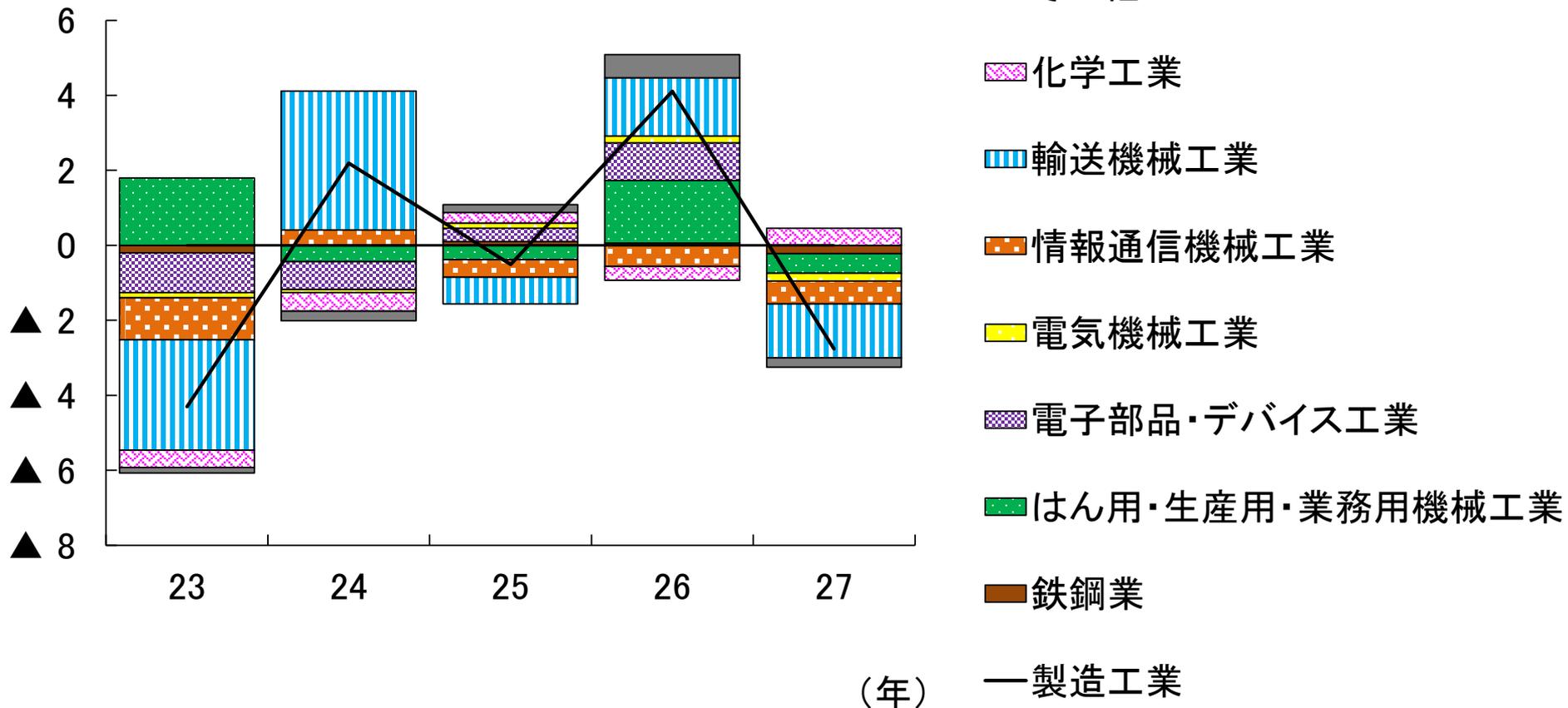
1) ▲はマイナス

2) I～IIIは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

# 稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成27年の稼働率指数(前年比、原指数)は、化学工業が上昇したものの、輸送機械工業などが低下したため、前年比▲2.8%の低下。

(原指数、前年比、%、%ポイント)

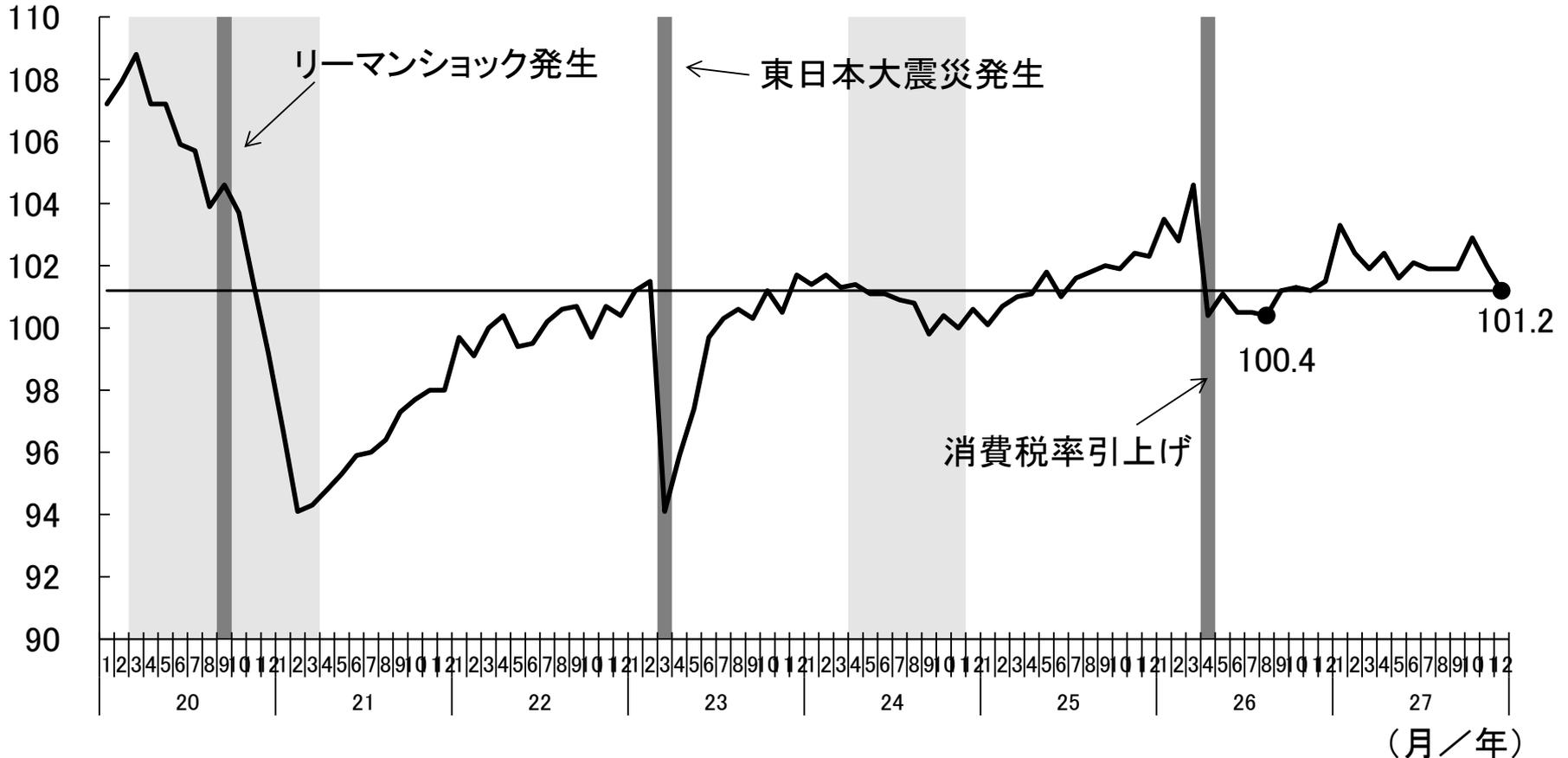


(注)その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、その他工業が含まれる。

# 統合指数(試算値)の動向

- 平成27年12月の統合指数(試算値)は、101.2(前月比▲0.8%)と低下。
- 平成26年8月の100.4以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



- (注) 1. 統合指数(試算値)は、鉱工業生産指数及び第3次産業活動指数の季節調整済指数を全産業活動指数のウェイトで加重平均することにより算出。  
2. 薄色シャド一部分は景気後退局面。

## 統合指数(試算値)に対する産業別寄与度分解

- 平成27年12月の統合指数(前月比、季節調整済)の内訳をみると、第3次産業活動(前月比寄与度▲0.46%ポイント)、鉱工業生産(同▲0.37%ポイント)がともに前月から低下したことにより、前月比▲0.8%の低下となった。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

